

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第191回定期演奏会
The 191st Regular Concert



《管・絃・打響》

～大編成アンサンブルの魅力～

■ 夷曲「西陵楽」

芝祐靖作曲(1985年)

(ひなぶり・さいりょうらく)

■ 朱輪金鈴

長沢勝俊作曲(1971年)

■ 十七絃と邦楽器群のための協奏曲

秋岸寛久作曲(委嘱初演)

十七絃独奏 宮越圭子

■ 巨火(ほと)

三木稔作曲(1976年)

2008年
5月21日[水]

午後7時開演(午後6時30分開場)

会場：第一生命ホール(晴海トリトンスクエア)(都営大江戸線「勝どき駅」A2a出口より徒歩8分)

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団 ◆<http://www.promusica.or.jp/>

NPOトリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール

入場料：全席指定 前売A5,000円 B4,000円 C3,000円 当日A5,500円 B4,500円 C3,500円

チケット予約：日本音楽集団 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033 E-mail office@promusica.or.jp

トリトン・アーツ・ネットワーク TEL 03-3532-5702(平日11:00～18:00) <http://www.triton-arts.net>

電子チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999

ヤングシート：25歳以下の方にB,C席を割安料金で。前日午前中までに日本音楽集団事務所へご連絡ください。

《管・絃・打響》～大編成の魅力～

日本音楽集団44年目～今、〈管・絃・打響〉
～創立時に思いをさせて～

日本音楽集団代表 田村 拓男



では、こうした幅広い力を身につけた若い現代邦楽演奏家らの活躍は目覚ましく、今後も様々な場での交流や発展が期待できます。

流派やジャンルを超えて集まった若い邦楽演奏家や作曲家ら14人

1960年代の音楽界（洋楽）といえば前衛音楽が主流であり、邦楽の話や邦楽器のための作品を書くなどは憚（はばか）られる状況の中で、流派やジャンルを超えて集まった若い邦楽演奏家や作曲家ら14人がいました。「日本の楽器で新しい日本の音楽創造の道を探ろう」と、毎日徹夜、半徹夜の話し合いが続き、ついには日本音楽集団の誕生につながりました。1964年11月17日、第1回定期演奏会（日比谷第一生命ホール）を開いて以来44年が経ちまして、今回の191回目の定期では、大編成の曲を集めて合奏をしようとしています。

五線譜への挑戦とアンサンブル訓練

どんな楽譜を使うかは大問題。世界への発信を念頭においた五線譜への挑戦を決心。ピッチの調整、指揮の見方などを含めたアンサンブルの基礎訓練には苦労も伴いましたが、その成果は大きかったと思います。その後の多くの作曲家（外国も含め）への働きかけ、世界のオーケストラとの共演、邦楽器の大編成演奏も可能にできました。現在

伝統に学び、伝統を創造する

「日本の伝統に学び、発展的継承を目指す」は私たちの発足当初からのスローガンです。人間は誰も「創造をしたい」という本能を持っています。継承を通じて素晴らしい日本の伝統を学び、創造につなげようとする道はごく自然な流れです。

大きいことだけが良いのではなく、どんな作品・演奏においても音楽性・芸術性が問われており、同時に聴く人・演奏する人が楽しめるものであることも忘れてはなりません。大編成はソロ・小編成の発展形であることはいうまでもありません。

創立44年目を迎える現在の私たちの演奏を、そして邦楽器たちの成長ぶりを多くの皆様に聴いて頂きたいと思えます。



宮越 圭子(みやこしけいこ)

日本音楽集団団員。1974年正派音楽院研究科修了。同院にて箏の中島靖子・後藤すみ子、三絃を井上道子・三宅倫子他に師事。同年NHK邦楽技能者育成会卒。日本音楽集団入団。NHKオーデション合格。以後、数多くのコンサート、CD録音の他、三木稔のオペラ「あだ」、歌楽「うたよみざる」の二十絃、「春琴抄」の三絃、市川猿之助スーパー歌舞伎の音楽の十七絃の担当など幅広く活躍する（国内約1200公演、海外20カ国50都市）。1987年は新潟県上越市、1988年・1993年は東京に於いて十七絃リサイタルを開催。豊かな音楽性や表現力、確かなテクニックには定評があり、アンサンブルの十七絃奏者及びソリストとして実力を認められている。現在、正派音楽院助教授、正派邦楽会大師範、正派合奏団団員、桐韻会会員、創造学園大学非常勤講師。



秋岸 寛久(あきぎし ひろひさ)

日本音楽集団団員。横浜生まれ。東京音楽大学作曲科卒。助川敏弥、浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。同大学研究科を修了後、日本音楽集団に入団。邦楽器のための作品も数多い。日本フィル九州公演、横浜国大グリークラブ、NHK邦楽技能者育成会、オーストラリア、シュライニング音楽祭、オーケストラ・アジア等からの委嘱や、市川猿之助スーパー歌舞伎「オオクニヌシ」の音楽、NHK伝統和楽団の編曲等を手がける。

◆ 十七絃と邦楽器群のための協奏曲 ◆

十七絃は、合奏において低音を補うために開発された楽器ですが、その能力の高さから独奏楽器としても活躍してきました。十七絃が人を引きつけるのはやはりその深くのびのある音色と多彩な表現力。この作品にも重く迫力のあるサウンドからコミカルな表情まで十七絃の魅力満載です。邦楽器群との対立と協調によって生み出される空間をお楽しみください。

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

ニッポニア・ファイブ募集中

連続5回の定期演奏会がお得な料金でフリーパスになる他、数々の特典があります。

- Aファイブ＝定価5,000円のA指定席を5回連続で15,000円
- Bファイブ＝定価4,000円のB指定席を5回連続で12,000円

以上詳細は日本音楽集団事務局までお問い合わせ下さい。

日本音楽集団定期演奏会《モニター・ボランティア》募集

日本音楽集団では定期演奏会にご来場頂き、お客様の視点からの印象や感想などをレポートしていただく《モニター・ボランティア》を募集いたしております。ご意見は音楽集団の定期演奏会の運営に役立たせて頂く他、「モニター・レポート」として音楽集団のHP上で公開することもあります。

- 応募方法／本団事務局宛に、応募用紙と共に作文を送付して頂きます。
- 第10期締切／平成20年4月21日(月) 必着

ご希望の方は演奏会場で、又は日本音楽集団事務局へお問い合わせ頂き、詳細な応募要項をお求め下さい。

▼電車ご利用の場合

- 都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅A2a出口 徒歩8分
- 東京メトロ有楽町線「月島」駅10番出口 徒歩15分

▼バスご利用の場合

- バス停「晴海トリトンスクエア前」
 - 都03系統（四ッ谷駅～数寄屋橋～銀座4丁目～晴海埠頭）
 - 都05系統（東京駅丸の内南口～有楽町駅前～数寄屋橋～銀座4丁目～晴海埠頭）
- バス停「晴海区民館&晴海三丁目」
 - 東12系統（東京駅八重洲口～リハビリセンター21～月島駅前～晴海埠頭）
 - 錦13甲系統（錦糸町駅前～住吉駅前～豊洲駅前～晴海埠頭）

▼お車の場合

- 首都高速都心環状線「銀座」[新富町]出口から約10分
- トリトンスクエア内駐車場（機械式有料駐車場 440台/7:00～23:30）

第一生命ホール

〒104-0053 東京都中央区晴海1丁目8番地9号
Tel 03 3632 3635 Fax 03 3632 2723



日本音楽集団メンバー

(楽器別・五十音順)

箏
越智 成人
野嘉 宏誠
竹井 浩平
西川 浩平

笙
真鍋 尚之

箏篋
西原 祐二

尺八
加藤 秀和
阪口 夕山
添川 浩史
原郷 隆康
藤崎 重康
藤水 寿也
三橋 貴風
宮田 耕八
元永 拓朗
米澤 浩淳
渡辺 淳

三味線
杵家 七子
工藤 哲三
坂口 香子
原中 悠美
田中 美志
藤積 大志
兼田 弘大
養田 司郎
守啓 伊子
山崎 千鶴子

琵琶
久保田 晶子
首藤 久美子
田原 順子
細川 華鶴子

箏
大島 菜子
久東 寿子
桜沢 榮子
佐井 智子
島藤 智子
高橋 春美
村川 美保
早川 法子
彦坂 智子
前川 恵子
松川 桂子
丸岡 知代
三宅 映礼

宮越 圭子
山田 明子
山田 由紀
吉波 重子

打楽器
白杵 美智代
尾崎 太一
黒坂 聖香
島村 昌香
仙堂 新太郎
高橋 明子
多摩 喜之丞
望月 太喜
盧若 月宏

指揮
稲田 康男
田村 拓男
田村 文生

作曲
秋岸 寛久
尺形 敏幸
川崎 絵都夫
長沢 勝俊
福嶋 頼秀

楽器・舞台
中島 隆

(休団中は未掲載)
2007年12月現在

デザイン:佐々木達彦
印刷:川北印刷(株)

特定非営利活動法人日本音楽集団
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302
電話 03-3378-4741 FAX 03-3376-2033
http://www.promusica.or.jp/
E-mail office@promusica.or.jp